

Small and Medium-sized Enterprises Advanced Course

Basic Core Subjects
Elective 2 credit

YAMAMOTO, Kennji

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

日本における中小企業研究、特に製造業におけるそれに関する研究の到達点と今後の研究展望を図ることがこの授業の狙いです。この授業は経済学研究科のディプロマポリシーのうちDP1「専攻が掲げる理論と実務に関する基礎知識と高度な専門知識及び研究方法を身につけ」、DP2「専門的なディスカッション能力・・・を身につける」ことに関連するとともに、地域経済政策学専攻のディプロマポリシーのうちDP1「世界と日本における地域の多様性と各地域における諸問題とに関する広範な知識」及び、DP2「日本を含む世界に存在する多様な地域が抱える諸問題に関して、地域経済政策学からの専門研究の方法と知識」の獲得に関連します。

2. Course Objectives

製造業中小企業に関するこれまでの研究動向がどのようなものであり、今後、どのような研究が必要かということについて、先行研究を踏まえて自身の見解を述べる力を身につけることがこの授業の到達目標です。

3. Grading Policy

毎回の授業への参加の積極性と、最終的に求めるレポートとによって判定します。この授業ではディスカッションに教員も参加するので、ディスカッションが学生へのフィードバックとなります。

4. Textbook and Reference

Textbook

植田浩史・糸野博行・駒形哲哉 変 『日本中小企業研究の到達点—下請制、社会的分業構造、産業集積、東アジア化—』 同友館、2010年。

5. Requirements(Assignments)

テキストを事前に読み、分かりにくいところがどこかをはっきりさせること、また異論がある場合には、どのような理由で異論を唱えたいのか、自分自身の考えを整理して文章化してきてください。

6. Note

テキストとは別に、随時読むべき文献(学術論文)を指示するので、それも読むことが求められます。

7. Schedule

- [1] 授業概要に関する解説、ならびに中小企業研究の意義について
- [2] テキスト「序章 問題意識、課題と構成」の検討
- [3] テキスト「第1章 下請制の戦後再編・発展と創業」の検討
- [4] テキスト「第2章 日本における下請制の形成—高度成長機を中心に—」の検討
- [5] テキスト「第3章 産地型産業集積の限界と可能性—大阪府堺市を中心とした自転車産地を中心に—」の検討
- [6] テキスト「第4章 産業集積地域に尾稀有持続的発展のための経路破壊・経路創造—日本とイタリアにおける眼鏡産業集積比較研究—」の検討
- [7] テキスト「第5章 地域におけるスピノフ連鎖のメカニズム—浜松地域と札幌地域のソフトウェア集積形成プロセス」の検討
- [8] テキスト「第6章 地場産業産地の変容と中小企業の新分野への展開」の検討
- [9] テキスト「第7章 東アジア中小企業の経営体としての発展段階—情報共有を尺度として—」の検討
- [10] テキスト「第8章 東アジア域内分業の構図—中国自転車産業の対等をどう位置づけるか—」の検討
- [11] テキスト「第9章 オランダにおける「起業教育」の動向—創業支援の新たな方向性の模索—」の検討
- [12] テキスト「第10章 競争論を基礎とする中小企業論序説」の検討
- [13] テキスト「第11章 「社会的分業」と中小企業の存立をめぐる研究序説」の検討
- [14] テキスト「第12章 「日本機械工業の社会的分業構造」再論—『中小企業白書』での「メッシュ化」論と山脈構造型社会的分業構造把握」の検討
- [15] 総括ディスカッション